

東京学芸大学書道科同窓会 硯心会だより 第10号

発行
2022年10月1日

学芸書道全国展、硯心会書展、講演会等開催のご報告

本部 草津 祐介(五十二期)

本年度の第四十六回学芸書道全国展および第四十一回硯心会書展は、新型コロナウイルス流行の脅威が今年も続くなかでの実施となりました。同展は、令和四年八月二十三日から三十日まで東京都美術館二階第四展示室にて無事に開催することができました。

硯心会書展には、三期から七十期までの一一五人の卒業生の皆様にご出品いただきました。学芸書道全国展にて、全国各地より九一二六点の児童・生徒の作品をお寄せいただきました。会期中合計で約一六〇〇人もの来場者を迎えることができました。

加えて、今年は特別展示として三十二期(一九八四年卒業)有志展

を開催し、五名もの出品者(内、四名は新規出品者)にご出品いただきました。ご出品いただいた三十二期の皆様、連絡・調整をいただいた福田みどり理事に御礼申し上げます。

また、特別企画とし、群馬の硯心会員展を開催し、三名の会員のご出品および三名の遺墨の展示をさせていただきました。ご遺族の皆様、ご出品いただいた群馬硯心会の皆様に厚く御礼申し上げます。真下京子氏、永田明氏には、特に中心となりご企画・ご手配いただきました。御礼申し上げます。

さらに、今年は硯心会主催講演会として、八月二十七日に、十一期卒業の古谷稔氏に「書の道を志す人へ」というタイトルにてご講演をいた

くことができました。詳細は第十一号(次号)にてご報告させていただきます。予定です。

昨年度は対面による授与を中止しました学芸書道全国展の表彰式についても、今年度は人数を制限したうえでできるかぎり短時間に開催するというところで、八月二十八日に東京都美術館講堂にて実施いたしました。

開催に当たっては、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の豊口和士様、東京学芸大学学長の國分充様、東京都小学校書写研究会会長、江戸川区立南小岩第二小学校校

長の土上智子様にご臨席いただき、開催いたしました。

一昨年からの企画である合同同窓会は、会食は難しい状況であることを鑑み、本年度も延期といたしました。来年はできるような状況であつてほしいと強く望みます。

本年度の一連の行事について、このように無事開催しましたことをご報告いたします。

硯心会書展、学芸書道全国展のオンライン公開については、硯心会ホームページから見る事ができます。是非ご視聴ください。



硯心会書展の会場の様子



古谷稔氏による講演会



学芸書道全国展会場の様子



学芸書道全国展表彰式

二〇二二年度総会報告

二〇二二年度の総会は八月二十七日、東京都美術館講堂にて開催されました。以下にその概要を報告します。

1. 開会のことば

2. あいさつ

3. 議 題

〔報告事項〕

①二〇二二年度の活動(本部)

・「第四十六回学芸書道全国展 併催 第四十一回硯心会書展」 省略

・その他企画 省略

・会場風景動画、第四十一回硯心会書展作品写真の公開について
本年もホームページでの作品の公開、会場風景の動画の公開を硯心会ホームページにてする予定。

・硯心会名簿の発行について
名簿データの整理は完了した。タイミングを見計らい発行する。(三月末を予定)今後少しずつ、返事がない理事の期、若い期等について、往復はがきによる現況調査をおこない、名簿に反映させていきたい。

・硯心会だよりの発行
二〇二二年四月に春季号を発行し、硯心会書展要項等とともに送付し、ホームページにも掲載した。二〇二二年十月に秋季号を発行予定。

②第四十一回硯心会書展(書展部)

▼実施報告

・出品者数 一一五名(昨年一二七名)
・作業分担(敬称略)

部長 殿村美奈子

統括 森岡、林、草津(本部)

庶務 河合、打越、永田

会計 中村

広報 近藤、込山、村田

・総来場者数 一六〇〇名(昨年八二〇名)

・硯心会書展作品集売上 二十七冊
・草創期教官の書売り上げ 二冊

▼変更点、反省点、改善点

・搬入を牧野商会に依頼した

・展示の順序を五十音順送りにする

・同期展の出品点数の確認

・来館者カードの検討

③第四十六回学芸書道全国展(学芸展部)

・作品募集期間
二〇二二年七月八日～十五日

・審査
七月二十四日に東京都美術館審査室にて審査員約三十名による一次審査、二次審査をおこない、合議によって各個人賞・団体賞を決定した。

・出品点数
九一二六名(昨年より一五八名減)

・出品団体数 一四四団体(昨年より十三団体増)

・表具には気配りし、作品の提出方法

など改善したが、これ以上は厳しい。金銭的な問題と出品者側の問題のため解決できない。

・今年度、作品募集時の作品郵送でのトラブルはなかった。

・賞通知の書類において、本来表彰式での表彰のない賞の書類に表彰式のお知らせをしまい、出品者を混乱させてしまった。次年度からはこのようなことがないように注意する。

④特別展示、特別企画(本部) 省略

⑤三国展(三国展事務局) 省略

〔審議事項〕

①二〇二三年度の活動(本部)
・「第四十七回学芸書道全国展 併催 第四十二回硯心会書展」
会期 二〇二三年八月二十三日(水)～二十九日(火) 九時半～五時半
会場 東京都美術館二階第四展示室
搬入 二〇二三年八月二十二日(火)

・その他企画
合同同窓会 実施予定
同期有志展 三十三期
(理事：殿村美奈子)

②第四十二回硯心会書展(書展部)
・作品締切 六月三十日(金) 必着

③第四十七回学芸書道全国展(学芸展部)
・作品募集期間(予定)
二〇二三年七月七日～十四日
・審査(予定)

④特別展示、特別企画(本部) 省略

⑤三国展(三国展事務局) 省略

〔審議事項〕

①二〇二三年度の活動(本部)
・「第四十七回学芸書道全国展 併催 第四十二回硯心会書展」
会期 二〇二三年八月二十三日(水)～二十九日(火) 九時半～五時半
会場 東京都美術館二階第四展示室
搬入 二〇二三年八月二十二日(火)

・その他企画
合同同窓会 実施予定
同期有志展 三十三期
(理事：殿村美奈子)

②第四十二回硯心会書展(書展部)
・作品締切 六月三十日(金) 必着

③第四十七回学芸書道全国展(学芸展部)
・作品募集期間(予定)
二〇二三年七月七日～十四日
・審査(予定)

④特別展示、特別企画(本部) 省略

⑤三国展(三国展事務局) 省略

二〇二三年七月二十三日（日）

東京都美術館審査室

・現在、小学生を対象とした「東京都小学校書写研究会賞」を授与しているが（三名）、新たに「東京都中学校書写研究会賞」「東京都高等学校書道研究会賞」を新設したいと考える。授与数に関しては、東京都小学校書写研究会賞に合わせて三名とするか、各校種の出品総数に比例させるかを考えたい。

・半切二分の一サイズの復活について、前向きに検討したい。

④三国展 省略

⑤その他

・東京学芸大学書道科近況報告

・千葉硯心会より

・世話人・高橋敏行氏よりあいさつ

4. 閉会のことば

例年、総会参加者が少なくなっております。ご都合つきましたらご参加をお願いいたします。（事務局）

千葉硯心会書作展

二〇二二年八月九日～十四日、千葉県立美術館にて「第五十回千葉硯心会書作展」が開催された。

会場には、浅見錦龍および揚石舒雁の遺作の他、千葉県在住在勤の東京学芸大学書道科出身者三十五名の

作品が並んだ。



千葉硯心会書作展会場の様子

埼玉硯心会書作展

二〇二二年七月三十日～八月二日、埼玉会館第三展示室にて、「第四十三回埼玉硯心会書作展」が開催された。会場には卒業生二十五名の作品が並んだ。

第43回 埼玉硯心会書作展

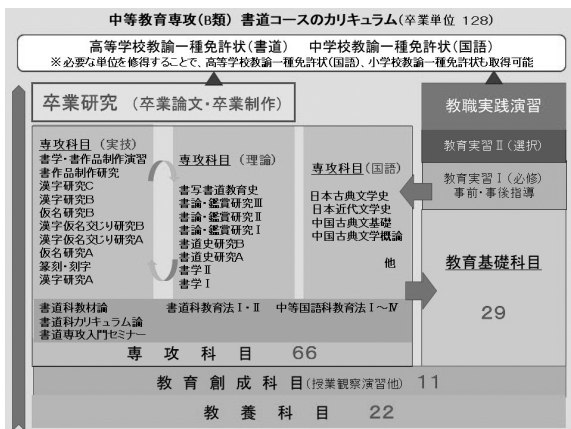
会期 令和4年7月30日(土)～8月2日(火) 午前10時より午後5時まで (ただし、初日は午後1時より、最終日は午後3時30分まで)
会場 埼玉会館 第3展示室 浦和駅西口下車徒歩5分 048-829-2471
出品者 天野玲月 飯田順子 大野幸子 岡田敏之 小川香海 橋本節子 関野 忍 小宮鶴都 近藤花方 齋藤翠石 櫻田蘭 佐藤銀節 杉山惠泉 高瀬芳月 田邊紗絵 豊口和士 野本翔太 樋口一翠 筆谷水葉 森 誠治 横山延子 吉澤翠孝 吉田清容 渡邊佳苑 渡辺藤貴

東京学芸大学書道関係学部・大学院の現況

東京学芸大学教育学部の書道専攻は、これまで中等教育教員養成課程に位置づけられ、学生定員は一学年二十名を募集してきました。令和四年三月に、七十七期生が卒業し、高等学校の書道の教員、中学校や高等学校の国語の教員、小学校の教員として、多くの学生が教職等に就いていきました。二〇二三年度からは、大学の学部改組にともない、学校教育教員養成課程 中等教育専攻（B類）書道コースとなり、一学年二十名の学生を募集することになりました。

大学院については、教職大学院教育実践専門職高度化専攻教科領域指導プログラムに書道教育サブプログラムが設置されており、現在二名が在籍しており、教員としての総合的な資質・能力を高め、有為な書写・書道の教員を育成するための実践的研究をおこなっております。また、博士課程は、連合学校教育学研究科芸術系教育講座、および言語文化系教育講座の中に書写・書道に関わる研究分野が位置づけられ、現在、二名在籍しております。

また、今年度は小金井祭期間中に書道専攻展（旧書道科展）が事前申し込み制にて開催されます。（十一月五日（土）～七日（月）、東京学芸大学芸術館）入構には事前申し込みが必要ですが、ご都合つきましたら、ご来場いただき、ご指導賜りますれば幸いに存じます。卒業制作展につきましても、詳細が決まりましたらご案内させていただきます。重ねてご指導いただければ幸いです。大学の改組につきましては、以下のQRコードを読み取っていただきますと、詳細をご覧いただけます。



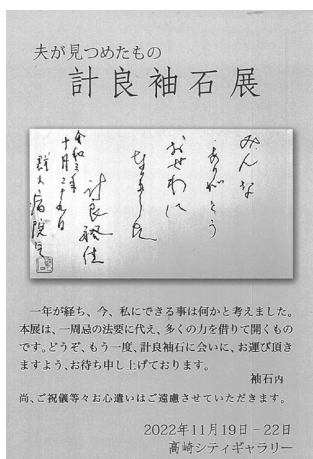
個展・同期展等開催報告

夫が見つめたもの

計良袖石展 二十六期

二〇二二年十一月十九日(土)～
二十二日(火) 十時～十七時
(最終日は十五時まで)

高崎シティギャラリー第六展示室
高崎市高松町三十五ー一
(高崎駅西口より徒歩十分)



七回忌追善 横山淳一展 十四期

二〇二二年十二月十三日(火)～
十八日(日)

銀座 鳩居堂三階画廊
中央区銀座五ー七ー四



第十一回 阪野鑑書展 四十七期

二〇二二年十一月二十九日(火)～
十二月四日(日) 十時～十八時
(最終日は十七時まで)

リーガロイヤルギャラリー

大阪中之島・リーガロイヤルホ
テル一階



朝倉竜樹書作展 三十五期

二〇二三年三月十四日(火)～
十九日(日) 十一時～十八時
(初日は十三時から、最終日は十七時
まで)

マロニエ通り銀座館ギャラリー
銀座二丁目十番十一号十一階



東京学芸大学書道専攻書作展

二〇二二年十一月五日(土)～七日(月)
十時～十八時(初日は十五時から)

※この期間は一般公開期間のため、
事前申し込みをいただくことで
入構ができます

※十一月九日(水)～十一日(土)は学内
公開期間となっています。

※学内への入校には事前申請が必
要です。詳しくは、
専攻書作展ホームペ
ージをご参照くださ
い。



書学ゼミ「書・七～九世紀」

二〇二二年十一月五日(土)～七日(月)
五日は十五時～十九時
六・七日は九時～十九時
東京学芸大学S一〇六教室

※入構に当たっては事前登録が必

要です。小金井祭ホームページ
または、専攻書作展ホームペー
ジをご確認ください。

会員の動向

全日本書道連盟七十周年を記念し、
六月一日に『書塾ハンドブック』が
本会会長が中心となり作成され、発
刊された。書塾経営におけるSNS
を活用した、児童・生徒の募集方法
や安心・安全の確保等、児童・生徒
はもろんのこと、保護者も安心で
きる書塾のあり方を中心に書いた書
塾指導者用の書籍である。

購入希望者は、全日本書道連盟
(〇三ー五二九四ー一三七一)まで。



編集後記

卒業生の皆様のご理解、ご協力、
各部署の皆様のご尽力により、本
年度の主要事業を終えることができ
ました。謹んで御礼申し上げます。

とはいえ、諸経費の高騰に本会の
運営、特に学芸書道全国展の運営も
苦しみながらおこなっております。
出品料をあげずになんとか運営をし
ていきたいと考えておりますが、非
常に厳しい状況にあります。何卒、
お知り合いの方にご紹介いただけれ
ば幸甚です。

❖ 展覧会(個展、同期展)の開催予
告、開催報告、出版等の情報を事務局・
草津までお寄せください。

計報

飯田洋子 十二期
謹んでお悔やみ申し上げます。

発行 〇硯心会本部 184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学 加藤泰弘研究室
編集 〇硯心会事務局 124-0011
葛飾区四つ木4-4-12 草津祐介

メール usk932@hotmail.co.jp
硯心会HP http://kenshinkai.grupo.jp

